

## 対馬保健所管内における感染症情報

令和7年 第19週（5月5日～5月11日）

## 1. 定点把握対象疾患

発生状況	疾患名	定点当たり（人）		報告数	内訳			発生年代等
		前週 (18週)	今週 (19週)		対馬 病院	上対馬 病院	豊玉 診療所	
↑	(季節性)インフルエンザ	-	1.33	4	1	3	0	10歳未満：1名 10歳代：2名 50歳代：1名
↓	新型コロナウイルス感染症	2.00	-	0	0	0	0	
	RSウイルス感染症	-	-	0	0	0		
	咽頭結膜熱	1.50	1.50	3	3	0		1歳：3名
↑	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	2.50	5	3	2		7歳：1名 10歳代：2名 20歳代：2名
↑	感染性胃腸炎	-	0.50	1	0	1		7歳：1名
↑	水痘	-	1.00	2	1	1		5歳：1名 20歳代：1名
	手足口病	-	-	0	0	0		
	伝染性紅斑（リンゴ病）	-	-	0	0	0		
	突発性発しん	-	-	0	0	0		
	ヘルパンギーナ	-	-	0	0	0		
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	-	-	0	0	0		
	細菌性髄膜炎	-	-	-				*基幹定点
	無菌性髄膜炎	-	-	-				*基幹定点
↑	マイコプラズマ肺炎	-	1.00	1				*基幹定点
	クラミジア肺炎【オウム病は除く】	-	-	-				*基幹定点
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-				*基幹定点
	急性呼吸器感染症（ARI）	40.67	34	102				ARI 定点

## 2. 全数把握対象疾患

発生なし

## 3. トピックス、季節情報

◆ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が増えています。警報レベルの地区もありますので、注意しましょう!



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは・・・

・A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症です。冬季と春から初夏にかけての2つの流行のピークを認めます。鼻汁や唾液などの飛沫によって、ヒトからヒトへ感染します。

## 症状等

- ・38℃以上の発熱、咽頭発赤、咽頭痛、全身倦怠感、莓状舌等の症状 → 早めに医療機関の受診を!
- ・3-5日以内に解熱し、1週間以内に症状は改善

## 治療・予防等

- ・抗菌薬での治療を行い、症状が改善しても、医師に指示された期間の服薬が重要!
- ・予防には、手洗いと咳エチケット、マスク着用が有効!

◆ 百日咳の報告数が多い状況が続いています。長引く咳には注意を!

・百日咳とは?

症状：かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増え程度も激しくなります。激しい咳は次第に収まりますが、時折発作性の咳がみられます。乳児の場合は、重篤化する恐れがあり、症状を認めたら早めに受診しましょう。

・予防方法は?

有効な予防法は、予防接種で、2か月に達したら、早めに5種混合ワクチンを接種しましょう。また、小学校就学前にワクチン効果が薄まるため、任意での追加接種を推奨しています。飛沫感染のため、咳エチケット、手洗い、手指消毒で予防に努めましょう。